

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成25年4月)

～現状判断、先行き判断ともに低下も、依然高水準～

- 景気ウォッチャー調査・4月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が6ヶ月ぶりに低下、先行き判断も2ヶ月連続の低下となった。
- 現状判断は、株高効果などに支えられ、百貨店を中心に高額品の動きが好調となったものの、円安に伴って諸物価の上昇が進んでいるほか、気温が全体的に低めの推移となったことで、季節商材の売行きも鈍くなり、DIの低下につながる形となった。
- 一方、大型商業施設の開業の影響については、プラスとマイナスの声が入り混じる形となっているが、4月下旬からの開業のため、結果には十分に反映されていない可能性が高く、5月の結果も含めて判断する必要があるとみられる。
- 先行き判断については、円安・株高の継続に対する期待が大きい一方、輸入原料をはじめとする諸物価の上昇に対する懸念も高まっており、結果としてDIの低下につながっているが、消費増税前の駆け込み需要が増えるといった声や、企業収益の改善に伴い、今夏のボーナス商戦の盛り上がりを期待する声も少なくない。

①「値上げ」関連のコメント (現状判断)

家計動向関連	ている 良くなっ	百貨店(売場主任)	・円安に伴う値上がり前の輸入ブランドの駆け込み需要が大きく、春物衣料も好調に推移している。
	いる やや良くなっ	百貨店(売場マネージャー)	・先月に続き、特選関係の価格改定の影響もあり、高額品が動いている。株高の直接的な影響というよりも、富裕層の気持ちの変化が購買意欲を高めている。
		百貨店(外商担当)	・今まで好調に推移していた海外ブランド品が、円安により軒並み値上げを実施したため、販売の増加に一服感が出ている。
	変わらない	家電量販店(経営者)	・5月からの電気料金値上げを控え、節電型で高付加価値の白物家電の動きが良い。
		スーパー(広報担当)	・今月に入ると気温があまり上がらず、季節品の動きが鈍くなっている。一方で、円安などの影響で値上げ報道が続いた油や小麦粉、トイレトペーパーなどでは、値上がり前に買い置きをする動きがみられるなど、生活防衛意識は強い。
なっている やや悪く	その他専門店[スポーツ用品](経理担当)	・消費材の価格が徐々に値上がりつつあるなか、給与アップの話は進んでいない。	
	一般レストラン(経営者)	・桜の咲いている時期は来客数も増えたが、桜が散ってから近隣の商店街も人通りが少なくなり、4月の売上としては今までで一番悪い。値上げなどにより消費者の財布のひもは固く、客層はますます二極化が進んでいる。	
向企業連 悪くなっ	ている	一般小売店[珈琲](経営者)	・仕入単価の上昇、原料の海外相場の高止まりや、円安が打撃となっている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	・円安の影響が食品関連の業界に出てきている。価格改定交渉を始めているようだが、積極的な増産傾向がみられない。輸出が多い企業は業績が良かったようであるが、現状は荷物量の増加まではみられない場合が多い。

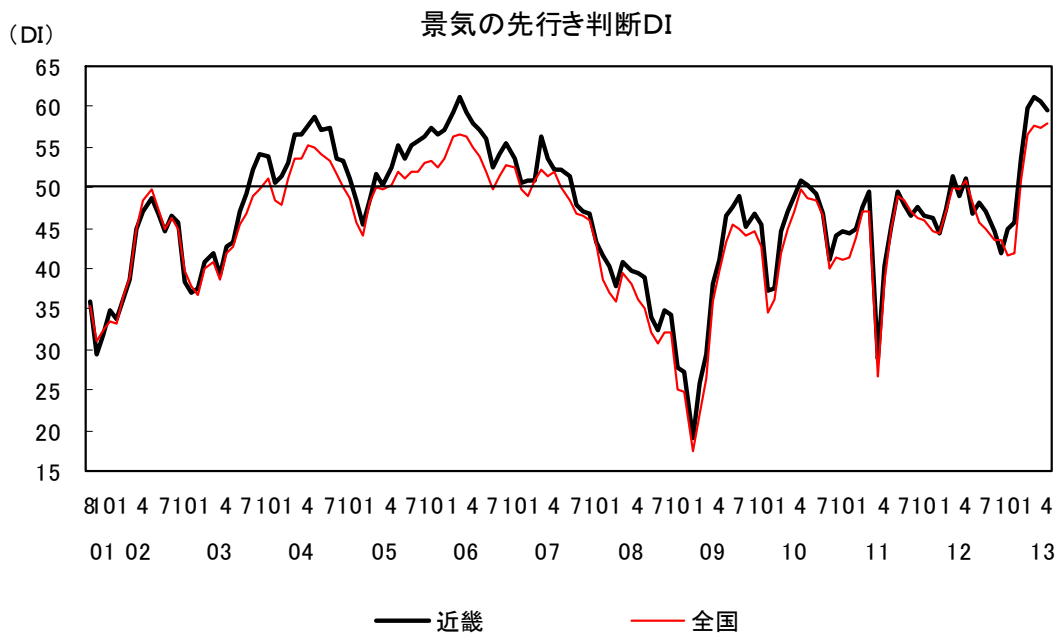
(先行き判断)

家計動向関連	くや なる や 良	スーパー（広報担当）	・電気料金の値上げなど、家計の負担感が増す要因はあるが、夏季賞与に企業業績の回復が多少なりとも反映され、一般消費者が所得増を実感できるようになれば、日々の消費にもプラス効果が期待できる。
	な い 変 わ ら な い	その他レジャー施設 [イベントホール]（職 員）	・景気回復策や、電気・ガス料金の値上げ、円安、消費税の二段階増税など、暮らしを直撃する要素はたくさんあるが、ある程度は客の開き直った対応も考えられるなど、先行きは不透明である。
	や や な る 悪 く	観光型旅館（経営者）	・石油製品の価格は下がっているが、電気料金や小麦価格の値上がり、公務員給料の引下げなどで、生活に関する不安感が出てくる。
	悪 く な る	衣料品専門店（経営者）	・既に円安の影響で、ウォン高や元高が進み、韓国や中国からの輸入品が2割5分から3割ほど値上がりしているため、今後衣料品は値上げせざるを得ない。
企業動向関連	や や 良 く な る	建設業（営業担当）	・受注後も、建設労務費や建設資材の価格が上昇しているが、契約済みの案件では物価上昇による値上げは認めてもらえない。拡大している建設市場のなかで、受注金額も緩やかに上昇し、適正な利益が確保できるようになることを期待したい。
	な い 変 わ ら な い	経営コンサルタント	・クライアントの食品スーパーでは、円高の影響で商品の値上げが増えてきているが、まだ卸業者等が価格上昇分を負担しており、店頭価格には影響が少ない。これらが本格化してくるまでは、売上が前年を上回る傾向は続く。
	や や 良 く な る	繊維工業（団体職員）	・季節要因により需要は多少増加すると思われるが、運送代や電気料金、原材料の綿糸価格などのコスト上昇が重なっている。需要動向をみても、値上げ交渉は難しい状況である。
	悪 く な る	繊維工業（総務担当）	・中国工場での生産品に対して円安が重くのしかかっているが、当社の規模では値上げを求めることは不可能である。一方、国内生産も依然として採算が合わない状態である。

②「梅田地区の大型商業施設オープン」関連のコメント(現状判断)

家計動向関連	な っ て い る や や 良 く	百貨店（サービス担当）	・今月は、婦人特選洋品や宝飾、美術工芸品が好調に推移しているが、大阪駅周辺の大型商業施設のオープンにより、来客数が減少している。
	な い 変 わ ら な い	百貨店（売場主任）	・3月はまずまずの入店で、ほぼ前年を超えていたが、4月はマイナス2%と厳しい。大阪の梅田地区が活況を呈しているため、影響を受けている。
		百貨店（営業担当）	・梅田地区が注目され、マスコミにも取り上げられた今月中旬以降、富裕層の買上も含め、店頭売上が減少している。一方、優良固定客に対する店外催しは好調である。
企業動向関連	な っ て い る や や 良 く	スーパー（店長）	・依然として販売価格に対する客の見方は、非常にシビアで細かい。高単価商材が好調なのは百貨店や専門店の一部で、円安、株高の実態がみえない以上、我々の業態では景気が良くなるとは思えない。梅田地区や神戸でオープンした大型商業施設も相当の人流ではあるが、飲食のプチゼいたく関連のほか、低価格業態の物販以外は厳しい売行きとなっている。
	な っ て い る や や 良 く	広告代理店（営業担当）	・梅田地区や神戸で商業施設の開業が続き、飲食関連ではにぎわいが出てきている。
雇用関連	な っ て い る や や 良 く	コピーサービス業（店長）	・駅周辺の商業施設オープンに伴い、各入居テナントの利用が多くみられ、受注量などの増加が感じられる。
	な っ て い る や や 良 く	新聞社[求人広告]（担当者）	・梅田地区での大型商業施設の開業が大きく、心理的にもプラスに働いている。
	な い 変 わ ら な い	求人情報誌製作会社（企画担当）	・梅田地区の大型商業施設関連の採用が一段落すると、梅田地区も心斎橋地区も採用の動きは大きく動かない。商業施設での新規案件以外は低調な状態が続く。
	な い 変 わ ら な い	新聞社[求人広告]（営業担当）	・新聞の求人広告に大きな変化はないが、市場全体の求人は梅田地区や阿倍野地区での新施設の開業などで動いている。今後は成長産業での求人にも期待している。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		年 11				12				13																
		月 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
現状判断	近畿	28.9	37.2	48.2	49.3	48.1	46.5	44.1	44.9	48.0	44.8	47.6	52.0	53.3	48.2	43.2	45.9	44.2	43.4	40.8	43.5	49.8	53.2	56.8	61.3	59.6
	(全国)	28.3	36.0	49.6	52.6	47.3	45.3	45.9	45.0	47.0	44.1	45.9	51.8	50.9	47.2	43.8	44.2	43.6	41.2	39.0	40.0	45.8	49.5	53.2	57.3	56.5
先行き判断	近畿	40.2	45.2	49.4	48.0	46.4	47.5	46.6	46.3	44.4	47.3	51.3	49.1	51.2	46.9	48.1	47.0	44.6	41.9	45.0	45.7	53.6	59.8	61.2	60.7	59.6
	(全国)	38.4	44.9	49.0	48.5	47.1	46.4	45.9	44.7	44.4	47.1	50.1	49.7	50.9	48.1	45.7	44.9	43.6	43.5	41.7	41.9	51.0	56.5	57.7	57.5	57.8